

地方で活躍する外国人介護人材のための介護福祉士資格取得支援プログラム 2024年10月1日(火)「NEDUKU 介護」スタート!!

株式会社KG情報は2024年10月1日(火)、新たなサービス「NEDUKU 介護」をスタートします。このサービスは、地方で活躍する外国人介護人材を支援することで、介護業界の人材不足の解消を目的としています。



■背景と目的

昨今、日本の介護業界は深刻な人手不足に直面しており、国としても外国人介護人材の受け入れが進んでいます。この課題に対し株式会社KG情報では、まずはミャンマー人介護人材を対象に、介護福祉士の資格を取得し日本での在留資格「介護ビザ」を得られるよう支援する新しいサービス「NEDUKU 介護」をスタートします。

このサービスを通じて、資格取得のための徹底的なサポートを提供し、安心して日本の介護施設で長期的に働ける環境を整えます。介護ビザ取得後は、日本での永続的な就労も可能となり、地域社会に根差した介護を担う存在として活躍できるようになります。

私たちは、外国人介護人材のスキル向上と日本での生活定着をサポートすることで、日本の介護業界の未来を築いていきます。

■サービスの特徴

①人材育成プログラム

プログラムに賛同し「介護ビザ」の取得を希望される意識の高い有望な人材の選定から、介護福祉士資格の取得までをサポート。介護福祉士としてのキャリアを構築します。

②専用アプリ

育成プログラムでは、介護福祉士資格試験の過去問題を繰り返し学習でき、専門用語集を備えた専用アプリを用意。苦手分野を把握し、繰り返し学習することで試験合格に繋がります。また、施設担当者の方は管理者IDでアクセスし、施設内の使用者全員の進捗が確認できます。

③介護ビザ取得支援

介護福祉士資格取得後も、介護ビザへの在留資格変更などの手続きもサポートします。

④資格取得をサポート

試験本番に焦点を合わせ、国家試験受験に必要な実務者研修の取得からアプリを通じた学習機会の提供、介護福祉士資格の取得を一貫体制でサポートします。

■サービス名とシリーズ展開

サービス名「NEDUKU」は、「根付く」という言葉に由来し、地方での人材定着を目指しています。「NEDUKU 介護」については、多言語化を進めミャンマー以外の外国人へのサポート拡大も視野に入れていきます。当社では、このNEDUKUプログラムを他の職業分類にも展開し、シリーズ化を目指しています。



【会社概要】

社名:株式会社KG情報 設立:1980年1月 資本金:10億1,003万6,000円

代表取締役:益田武美

本店:高松 管理本部:岡山 支社:高松、松山、徳島、高知、岡山、広島、大分、札幌

生産本部:岡山

事業内容:調査・情報サービス、有料職業紹介事業

URL:<https://www.kg-net.co.jp/>

〈報道関係お問い合わせ先〉

株式会社KG情報 広報担当 林 広美

TEL(086)241-6101 FAX(086)244-4911